

令和7年度 学校評価自己評価表

評価計画					
	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価指標	目標値
学びに向かう力	主体的で深い学びのできる児童を育成する。	①基礎基本の定着を図る。 ②協調学習の推進を図り、自分で考え判断し、解決していく力を高める。	①「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を意識した授業を行う。 ②単元構成と授業展開の工夫を行う。	①国語・算数・社会・理科の期末テストにおいて、得点率8割以上の児童の割合 ②協調学習を学期に1回行う。研究推進に関する質問「自分で考えて学習に向き合い、問題を解決しようとしていますか」の肯定的回	①75% ②85%
豊かな心	自他のよさを認め合い、友達とつながろうとする児童を育てる。	③互いを尊重し、協力しながら行動する態度を養う。 ④自己調整力を高め、前向きに挑戦しようとする意欲を高める。	③月1程度、児童が自主的な活動を行えるように係活動や委員会活動を活性化させる。 ④児童会活動や学級または行事等でお互いの頑張りを認め合ったり振り返ったりする場を充実させる。（児童集会で紹介する等）	③児童質問紙「学級の係や当番、委員会や行事などでがんばった場面があります。」の肯定的な回答の割合 ④児童質問用紙「何事にも挑戦し、前向きに取り組む努力をしている。」の肯定的な回答の割合	③85% ④85%
健やかな体	心も体もたくましい児童を育成する。	⑤基本的な生活習慣を確立する。 ⑥体力の向上を図る。	⑤期間を限定し、生活リズムの実態把握をし、メディアコントロールデーを設定する。 ⑥体力テストの記録をもとに自身の数値向上を目指す。（握力、50m走）	⑤メディアコントロールデーにおいて自分の目標を達成する児童の割合 ⑥学期末に記録を測定し、年度初めの記録を上回った児童の割合	⑤80% ⑥80%
信頼される学校	地域・保護者とつながり、信頼される学校づくりを推進する。	⑦コミュニティースクールを中心とした地域の人材活用を積極的に行う。 ⑧働き方改革を推進する。	⑦地域の人材や素材を活用した授業や取り組みを全学年で行う。 ⑧業務改善を行い、職員のワーク・ライフ・バランスを推進する。	⑦全学級が年間に1回以上、地域の人材や素材を生かした取り組みを行う。 ⑧「自分の業務にやりがいをもっている」と感じる職員の割合	⑦100% ⑧100%